

【基本教育科目/社会の理解】

科目名	ナンバリング	区分(必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
平和と外交	NLA11_015	選択	2	1	後期
担当教員	研究室	電子メールID	オフィスアワー		
村上 雅博	教員控室	kango	課題シート内のコメント欄にて対応		
授業の目的・概要	日本と国際社会(国連)および発展途上国との関係性⇔相互依存性に基づいた国際関係は、平和国家の生命線です。平和を希求する日本の外交政策の問題を抽出して解決に向けた課題を考え、国際協力(ODA)の役割と意義を明らかにすることから、国際社会における日本の未来に向けた論点や意見を主張することができるような能力を身につけていくことが本講義の目的である。 日本の国際(外交)関係の要点とつながっている主要なテーマである、戦争(紛争)と平和、貧困・差別・格差・不平等・不公正、人権、国際連合、国連憲章、国連憲章、世界保健機構(WHO-UHC)、持続可能な開発目標(SDGs)、日本国憲法、国際貢献、政府開発援助(ODA)、NGO-NPO、人間の安全保障、テロ問題、等についての国際社会の歴史認識を踏まえて解説し、知識力に加えて考察力や思考力を高めていく。 今、新型コロナウイルス(COVID-19)禍問題で直面している公衆衛生と生命倫理にも接点をもつ授業なので、人の命と健康に直接に係わる看護師や保健師の職業倫理に係わる基本的な人権の問題にも着目する。ヒポクラテス、ナイチンゲール、デュナン、ゼンメルワイス等の医療倫理の原則に係わる事例を含めて解説しますで、人間と社会に係わる基本的な問題を解決するための課題を見極める力をつけていこう。				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> PBL <input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学习) <input type="checkbox"/> その他()				
学習上の助言	オリジナルな講義テキストのPPT-PDFファイル3点が事前にTeamsにて配信される。 ⇒①講義テキスト:PPT、③知識問題課題演習(穴あけ形式問題10問):WORD、④知識問(10題)解答+(コメント・質問)シート(WORD)に加え②キーワード演習シート(プリント)が当日に配布される。 →質問やコメント等のオープンな議論を歓迎するが、討論等に慣れない方は、上記④WORDシートの最下段の自由覧をツイート形式で活用することが出来る(成績評価対象の一部に組み込まれる)。				
教科書	指定しない。オリジナルな参考資料プリントと講義用のPPT-PDF fileを事前にTeamsで配信。				
参考書	教科書・参考書に相当する配布テキストは全て無料でInternet-Webに公開されています。出展のURL: http:// を明記した小テスト(穴あけ問題)形式の参考資料③(WORD)をTeamsで配信。				
外部教材	特になし。				
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	平和国家の存続基盤となる国際関係のポイントになる知識を修得し、外交と国際協力の役割と意義を理解すると共に、生命倫理にも係わる問題を抽出して解決につながる課題について考える力を身につけ、論理的に自身の論点を主張・説明することができる。		HSU(1)(2)(3)(4)(5)(6) NS(1)(2)(4)(5)		
②	戦争・紛争と平和・外交の根源的な問題と課題および歴史認識にかかわる深いテーマについて、人間の命に直接に係わる専門性の高い職業人としての一般教養力と自身の根源的な思考能力(考える力)を高めていくことができる。		HSU(1)(2)(3)(4)(5)(6) NS(1)(2)(4)(5)		
③	コロナ(COVID-19)禍問題に加えて、ロシアのウクライナ軍事侵攻が重なる歴史的な国際関係の変遷や地域の安全保障問題や人間の安全保障に関する内容を強化しているため、最先端の世界や国際社会の最重要課題にアンテナを延ばして問題解決にチャレンジ出来る。		HSU(1)(2)(3)(4)(5)(6) NS(1)(2)(4)(5)		
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間(時間)		
1	プロローグ : 今、世界は!“世界百人村”から”幸福”とは何か?⇔貧困・差別・格差・不平等と紛争・戦争および人間の安全保障の課題 ⇔ 人間は何か?、「争い」・「闘争」のか?	講義	シラバスと配布資料ファイルをもとに予習・復習し確認する。	4	
2	[A-1] 国際社会と国連 [UN]: 世界平和と日本国憲法の原点は国連憲章⇔ロシアのウクライナ侵攻問題で機能していない国連の根本的な難問→安全保障の問題と課題	講義	シラバスと配布資料ファイルをもとに予習・復習し確認する。	4	
3	[A-2] 国際社会と国連 [UN]: 貧困と格差の問題に取り組む人間開発(UNDP) ⇔ 戦争・紛争+テロの脅威から人々の命と生活を守る→人間の安全保障	講義	シラバスと配布資料ファイルをもとに予習・復習し確認する。	4	
4	[A-3] 国際社会と国連 [UN]: ミレニアム開発目標 [MDGs] から持続的開発目標 [SDGs] へ → 基本コンセプト: “だれ一人とり残さないために” → UHC (Universal Health Coverage)	講義	シラバスと配布資料ファイルをもとに予習・復習し確認する。	4	
5	[B-1] 今日の国際関係の背景 [1]: ロシアのウクライナ侵攻の原点と背景⇔ナイチンゲール・看護学とデュナン・赤十字の原点はクリミア戦争(1853-1856)	講義	シラバスと配布資料ファイルをもとに予習・復習し確認する。	4	
6	[B-2] 今日の国際関係の背景 [2]: 9-19世紀の世界帝国の宗教対立: 十字軍遠征(1096-1270)問題とオスマン帝国(1299-1922)との聖戦と覇権抗争(キリスト v.s. イスラム)	講義	シラバスと配布資料ファイルをもとに予習・復習し確認する。	4	
7	[B-3] 今日の国際関係の背景 [3]: 今日のロシア-ウクライナ地域紛争と第一次世界大戦の原型となった露・土戦争(1877-1903)	講義	シラバスと配布資料ファイルをもとに予習・復習し確認する。	4	
8	[B-4] 今日の国際関係の背景 [4]: 戦争の世紀の火薬庫: 中東紛争: 第一次大戦とイギリスの三枚舌外交+第二次大戦と中東戦争+聖戦・テロとの戦い	講義	シラバスと配布資料ファイルをもとに予習・復習し確認する。	4	
9	[C-1] 日本の外交の目的と意義 : 平和外交の原点は国連憲章と日本国憲法⇔世界で唯一の平和憲法	講義	シラバスと配布資料ファイルをもとに予習・復習し確認する。	4	

【基本教育科目/社会の理解】

10	[C-2] 日本の外交の目的と意義 : 国際社会の平和を築き守る日本の国際協力のエンジンと意義: 人間の安全保障⇔基本的人権から平和外交の目的と意義を再考する	講義	シラバスと配布資料ファイルをもとに予習・復習し確認する。	4			
11	[C-3] 日本の外交の目的と意義 : 人間の安全保障⇔基本的人権から平和外交の目的と意義を再考する	講義	シラバスと配布資料ファイルをもとに予習・復習し確認する。	4			
12	[D-1] 国境を超えるパンデミックと公衆衛生 : 世界の歴史を変えた戦争と深く係わる感染症・疫病と医学・看護学の役割	講義	シラバスと配布資料ファイルをもとに予習・復習し確認する。	4			
13	[D-2] 国境を超えるパンデミックと公衆衛生 : 戦争と感染症対策から生まれた看護学と公衆衛生学・ナイチンゲールの業績と社会的な背景	講義	シラバスと配布資料ファイルをもとに予習・復習し確認する。	4			
14	[D-3] 国境を超えるパンデミックと公衆衛生 : 先進国と発展途上国が共存し生き残るための国際社会のワクチン国際協調配分計画(COVAX)の意義と課題	講義	シラバスと配布資料ファイルをもとに予習・復習し確認する。	4			
15	エピローグ : 日本の国際協力(ODA)は、なぜ必要か?	講義	シラバスと配布資料ファイルをもとに予習・復習し確認する。	4			
試	定期試験: 小論文<800文字>: 40分間 + 知識問<50題>: 40分間						
達成度評価							
総合評価割合(%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		60	30	5	4	1	100
総合力指標	知識・技術力	20	10	0	0	0	30
	思考・推論・創造する力	20	10	1	0	0	31
	協調性・リーダーシップ	0	0	1	1	0	2
	発表・表現伝達する力	10	0	1	0	0	11
	コミュニケーション力	0	0	1	1	0	2
	取組みの姿勢・意欲	0	0	1	1	1	3
	問題を発見・解決する力	10	10	0	1	0	21
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①	✓	キーワードの穴埋め問題形式で小テスト(50問)を実施<課題演習シート+PPTファイルから出題>し、基本的な知識修得の達成レベルを最終的にチェック(評価)する。⇒配点比率は30%				知識問題テストは絶対評価で採点し、論文テストは相対評価を加えて評価し、総合的な成績表=相対順位ソート表を追記して事務宛てに通知する。
	②	✓	論文試験(800文字)では、「問題」の所在を抽出し、その問題を解決するための「課題」について考えて目的や必要性や意義を理解して総合的に考察する力がどの程度ついてきているかを評価する。演習・課題シート[1]-15]の質問・コメントを考慮して出題⇒配点比率は30%				
	③	✓					
レポート	①	✓	授業終了時にキーワード演習シート②WORD配布プリントに自身が重要と考える順でキーワードを3つ選びシートに記載し提出する。				Teams/Wordの演習シートを毎回プリントアウトして採点し講評を加えたコピーを各位に返却。適時にコメント欄等に講評を加える。
	②	✓	Teams(資料: ファイル③+④)にアップロードされている「知識問題集: ③WORD」と「知識問題解答+コメント・質問シート: ④WORD」に取り組み、講義当日の24:00までWORDファイルをTeamsにUploadする。⇒課題演習の配点比率は30%				
	③	✓					
成果発表	①	✓	ディベート形式の討議のための時間を講義の終盤にとりますが、挙手をして話す・議論することが苦手な方と発言時間が足らなかった方は当日24:00までに提出する④課題演習シート(WORD)の最下段にある質問・コメント等自由覧を活用できる。(上位1~2割はS評価として成績評価対象)。⇒配点比率は5%				適時にコメント欄等に講評を加える。
	②	✓					
	③	✓					
ポートフォリオ	①	✓	授業の展開段階における成長過程をディベートやTeamsの質問・コメントや課題演習の内容から評価。←授業への参加姿勢や質疑応答および課題演習レポート(WORD)への取り組み内容(キーワード所感とメモ覧を活用した質問やコメント等)のレベルを含めて総合的にチェック・評価する。⇒配点比率は4%				適時にコメント欄等に講評を加える。
	②	✓					
	③	✓					
その他	①	✓	不確実性が残るコロナウイルス対策と授業の展開・進展の相互関連性を適時に判断する。⇒配点比率は1%				社会的な必然性があれば適時にコメント欄等に状況説明を加えるか最後に講評する。
	②	✓					
	③	✓					

【基本教育科目/社会の理解】

備 考	
他 担 当 教 員	なし
教 員 の 実 務 経 験	日本工営（株）国際事業部・コーエイ総合研究所（1976～1997） 高知工科大学（高知県立大学）・環境理工学部・教授（1997～2015）
実 践 的 授 業 の 内 容	国際協力・国際開発協力 地域紛争予防と平和構築 人間・社会倫理
そ の 他	<p>★2024年度授業の特色</p> <p>コロナウイルス感染の認識に甘さがあったためか、残念ながら After コロナではなく With コロナでパンデミックに対応せざるを得ない局面を経て今日に至っています。2022年2月にはロシア・ウクライナ紛争が勃発し、コロナ禍に加えて悲劇的な混迷と戦闘長期化が続いて、エネルギーや食糧や地域の安全保障にも大きな影響が出ている不透明で不確実な時代が続いています。そこで、昨年度から急速にウイルス(COVID-19)と感染症や公衆衛生の問題に加えてロシアのウクライナ侵攻に関する歴史的な国際関係の変遷や地域の安全保障問題に対する内容を強化したシラバスに改定しています。今後の国際社会の状況変化などによって再度シラバス変更の可能性があります。</p>